

# 公益財団法人 恵那市スポーツ連盟

## 2026～2029 年度 中期基本計画

### I. 計画策定の主旨

当連盟は、昭和 29 年に創立された恵那市体育協会を前身として、昭和 58 年に組織拡大を図り、アマチュアスポーツを普及振興して市民の体力向上と健康増進を図るとともに地域社会の発展に寄与することを目的に、恵那市体育連盟として財団法人化し設立されました。その後、市町村合併に伴い恵南 5 町村の各体育協会との統合を経て、平成 27 年には公益財団法人へ移行、そして令和 7 年 4 月には（公財）恵那市スポーツ連盟に名称を変更、新たな気持ちで本市のスポーツ振興に取り組んでいます。

近年、少子高齢化の進展やスポーツを取り巻く状況が大きく変化している中で、本市のスポーツ振興にとって重要な役割を担う本連盟が、果たすべき役割を効果的かつ持続的に担っていくには、いっそう中長期的な戦略をもって組織運営及び事業実施を行っていくことが必要となっています。さらに、スポーツ庁がすすめる「スポーツ団体ガバナンスコード」の取り組みの中でも「目指すべき基本方針（中長期計画）」の策定が求められているところでもあります。

これらを踏まえ、このたび、恵那市の第 2 期恵那市スポーツ推進計画の策定に合わせ、連盟としても今後 4 年間の目指す目標及びその実現に向けた施策・取組の方向性を示す「恵那市スポーツ連盟中期基本計画」を策定することとしました。

### II. 計画の基本的な考え方

#### 「スポーツで健幸まちづくり 恵那」への貢献

本連盟は、行政と一体となって健康で明るい恵那市づくりを行うことを目的に設立されました。この趣旨に基づき、恵那市が策定するスポーツ推進計画と協調し、「スポーツで健幸まちづくり 恵那」という基本理念を共有したうえで、当連盟の役割を明確にするとともに効果的かつ持続的に担うための方策を示します。

### III. 計画期間

恵那市スポーツ推進計画と同期間、2026～2029 年度（令和 8 年度～令和 11 年度）の 4 年間とします。

### IV. 計画の見直し

この計画は、国、県や市の各種施策の動向、当連盟を取り巻く状況の変化等に対し、必要に応じ適宜見直すものとします。

## V. 取組体系

### ① スポーツを通じた健康づくりの推進

恵那市スポーツ推進計画の目標である「市民の45%が週1回以上運動やスポーツを行う」の実現に向けて、幅広く各種事業に取り組みます。

### ② 子どものスポーツ参加機会の充実

子どもたちが気軽にスポーツに触れる魅力的な機会を充実するとともに、少年スポーツ団体の支援を継続します。また、市と連携し部活動の地域展開を支援します。

### ③ コミュニティづくりへの貢献

身近な場所でスポーツに親しむことができる環境づくりとともに、地域でのスポーツ行事の実施や地域間の交流を促す取組みを推進します。

### ④ 競技力向上支援

各種競技に触れる機会を創出し競技人口のすそ野を拡大するとともに、指導者等の参画する人材を確保・育成するための支援を積極的に行っていきます。

### ⑤ スポーツツーリズム推進への貢献

魅力を広く発信するとともに、関係機関の連携を深め地域活性化につなげます。

### ⑥ 加盟団体育成・組織強化（地区協会の体制強化）

ホームページリニューアルを軌道にのせ、各加盟団体の情報発信強化とともに、情報共有を深め連携強化を図り、抱える課題や運営ノウハウを共有する機会を創出、組織力強化につなげます。

### ⑦ 安心・安全で、気持ちよく利用できる施設運営

適正な管理運営に努めることで指定管理業務を継続し、利用者や利用団体の声や要望を受け止めながら積極的に管理運営形態の改善を行い利用拡大に努めます。

### ⑧ 健全で信頼される組織運営

公益財団法人として、市民から信頼され本市のスポーツ推進に永続的に貢献していくことのできるよう、法令等に則り適正で効率的な運営を行っていきます。

## VI. 取組方針

### ① スポーツを通じた健康づくりの推進

---

#### 〈現状と課題〉

スポーツは、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものとなっています。しかしながら、本市の意識調査では市民の健康に対する意識は高いものの積極的な行動にまではつながっていません。身近で気軽にスポーツに取り組める環境と機会の充実が求められています。

#### 〈取組方針〉

恵那市スポーツ推進計画の目標である「市民の45%が週1回以上スポーツを行う」の実現に向けて、市と連携し幅広く各種事業に取り組めます。

1. 指定管理業務を継続し、スポーツに取り組む良好な環境の提供
2. 幅広い層を対象にした、教室や体験機会の充実
3. ボッチャ等誰でも取り組みやすい種目や、スケートボード等新種目の推進
4. 健康体力センターの利用促進
5. 市内事業所等と連携した健康増進事業の実施

**【数値目標】** ○体力センターの延利用者数      R 6 18,220人 ➡ R11 20,000人  
○健康教室の延参加者数      R 6 914人 ➡ R11 1,000人  
(R6:バランスボール、健幸運動、プチ健康の合計)

### ② 子どものスポーツ参加機会の充実

---

#### 〈現状と課題〉

スポーツは、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、人格の形成に大きな影響を及ぼす重要な役割を担っています。しかしながら、当市では社会情勢の変化や特に少子化により子どもたちが多様なスポーツに触れる機会が減少してきています。また、中学生のスポーツ実施率は低下傾向にあり、部活動の地域展開の取り組みは喫緊の課題となっています。

#### 〈取組方針〉

子どもたちが気軽にスポーツに触れる魅力的な機会を充実するとともに、少年スポーツ団体への支援を継続します。また、市と連携して部活動の地域展開を支援します。

1. スポーツ少年団の活動支援
2. 総合型スポーツクラブの活動支援
3. 中学部活動の地域展開の支援
4. 魅力あるスポーツ教室の開催
5. 学校等を通じた広報強化

**【数値目標】** ○スポーツ普及教室延参加者数      R 6 875人 ➡ R11 1,000人  
○スポーツ指導者バンク登録者数      R 6 83人 ➡ R11 120人  
(指導者・ボランティア)

### ③ コミュニティづくりへの貢献（地域におけるスポーツ活動の推進）

#### 〈現状と課題〉

スポーツは、様々な交流を促進し、地域の一体感や活力の醸成にも寄与するものです。そして、地域でのスポーツの推進は市のスポーツ人口の拡大に直結します。

当市では少子高齢化やニーズの多様化に伴い、スポーツ参画者や担い手そのものの数が減少していることで、地域でスポーツや運動を楽しむ機会が減少しており、新たな取組みが必要になっています。

#### 〈取組み方針〉

身近な場所でスポーツに親しむことができる環境づくりとともに、地域でのスポーツ行事の開催や、地域間の交流を促す取組みを推進します。

1. 地区スポーツ協会の運営支援
2. 地域でのスポーツ行事開催のための支援
3. 恵那峡ハーフマラソン大会、大正村クロスカントリー大会の継続開催
4. レクリエーションスポーツやウォーキングなど、身近な地域でスポーツを始めるための情報提供
5. 市スポーツ推進委員との連携強化
6. 市民スポーツ大会の充実

【数値目標】 ○地区スポーツ協会主催イベント数 R 6 25回 ➡ R11 35回

### ④ 競技力向上支援

#### 〈現状と課題〉

競技スポーツは自らの達成感だけではなく、競技選手の努力する姿や活躍は、夢や希望を与え活力ある地域社会の形成に寄与します。また、青少年の心身の健全な成長に不可欠であり、青少年にとって重要な人間形成の機会となります。

現在、当連盟には25の種目競技団体がありますが、少子高齢化の影響やライフスタイルの変化など団体を取り巻く社会環境は大きく変化し、指導者不足や登録者数の減少が顕著になってきています。

#### 〈取組み方針〉

競技人口のすそ野を拡大するため、競技に触れる機会を創出するとともに、指導者等の人材を確保・育成するための支援を積極的に行っていきます。

1. 各種大会参加の選手負担軽減
2. スポーツ指導資格取得のための支援策の充実
3. スポーツ指導者ボランティアバンク登録者の整理充実と活用
4. 競技に対する関心を高めるため、関係者の顕彰や激励機会の充実
5. 国体会場となったスケート・弓道を特定種目として引き続き普及

【数値目標】 ○指導者資格取得助成人数 R 6 3人 ➡ R8~11 計20人  
○専門スポーツ教室参加者数 R 6 289人 ➡ R11 350人

## ⑤ スポーツツーリズム推進への貢献

### 〈現状と課題〉

市内には、クリスタルパーク恵那スケート場や笠置峡ボート・カヌー場などの特色ある施設や、恵那峡ハーフマラソン大会や大正村クロスカントリーなど市外から多くの参加者が訪れる魅力あるスポーツ大会を開催しています。

しかしながら、これらは単発的なものにとどまっており、その効果が広く市内に波及しているとはいえ取り組みが求められています。

### 〈取組み方針〉

魅力を広く発信するとともに、関係機関と連携し地域活性化につなげます。

1. 各種大会や施設に関する情報発信の充実
2. 恵那峡ハーフマラソン、大正村クロスカントリー等での観光PR機会の提供
3. スポーツ合宿団体に向けての観光PRの充実
4. 恵那スケート場や笠置峡ボート・カヌー場と連携した特色ある事業の創出

### 【数値目標】

- 大正村クロスカントリー・恵那峡ハーフマラソンのエントリー数  
エントリー数合計 R7春 3,675人 ➡ R11春 4,000人
- スポーツ合宿受入れ数 R6 40団体 ➡ R11 50団体

## ⑥ 加盟団体育成・組織強化（地区協会の体制強化）

### 〈現状と課題〉

当連盟には、13の地区スポーツ協会、24の競技種目団体、4つの関係団体が加盟しています。特に市内全地区にある地区スポーツ協会は地域住民と密接な関わりをもっておりスポーツ振興の重要な役割を担っています。

しかしながら、少子高齢化や後継者・担い手不足により、単位協会のみでは事業展開が困難な状況も生まれており、新たな取組や仕組みづくりが必要になっています。

### 〈取組み方針〉

ホームページリニューアルを軌道に乗せ、各加盟団体との情報共有を深め連携強化を図るとともに、課題や運営ノウハウを共有できる機会を創出し組織力強化につなげます。

1. ホームページやSNSの活用による情報発信、情報共有の充実
2. 加盟団体の組織強化のための支援の充実
3. 多くの参加を得るための市民スポーツ大会の開催方法の改革
4. 加盟団体の育成及び組織強化のための方向づけ

### 【数値目標】

- ホームページ閲覧数 R6 ー PV ➡ R11 50,000 PV/年
- 地区協会・種目団体の投稿数 R6 ー 件 ➡ R11 110件/年

## ⑦ 安心・安全で、気持ちよく利用できる施設運営

### 〈現状と課題〉

当連盟は、平成19年度から「まきがね公園」、20年度から「山岡地区スポーツ施設」、21年度から「明智地区スポーツ施設」「上矢作プール」の指定管理業務、平成16年度から「クリスタルパーク恵那スケート場」の管理運営業務を受託し、安心・安全な施設運営に努めていますが、施設の老朽化や最近の猛暑対応など、一層の安全配慮と丁寧な対応が求められています。

### 〈取組み方針〉

適正な管理運営に努め指定管理業務を継続するとともに、利用者の声や要望を受け止めながら積極的に管理運営形態の改善を行い利用拡大に努めます。

1. 仕様に基づいた適正な管理運営により指定管理の継続受託
2. ホームページやSNSを積極的に活用した情報発信の充実
3. クリスタルパーク恵那スケート場の管理運営による利用促進
4. 巡回の徹底による不具合箇所の早期発見と速やかな対応
5. 市と連携した施設の予約、決済システムの進展

【数値目標】 ○管理施設の年間利用者数 R6 163,620人 ➡ R11 170,000人

## ⑧ 健全で信頼される組織運営

### 〈現状と課題〉

本連盟は、市民から募った資金と市の出資を基本財産として設立されました。これまでも、設立の理念を継承し健全な組織運営に努めてきましたが、スポーツを取り巻く社会情勢の変化や、特に本市における少子高齢化は今後の組織運営に大きく影響するものと考えられ、持続可能な組織運営が求められています。

### 〈取組み方針〉

公益財団法人として、市民から信頼され本市のスポーツ推進に永続的に貢献していくことのできるよう、法令等に則り適正で効率的な運営を行っていきます。

1. スポーツ団体ガバナンスコードの適切な対応
2. 研修等の取り組みによるコンプライアンス意識の向上
3. 業務改善の継続と効率化の推進
4. 各種資格取得の促進
5. 人事評価による適正な職員管理
6. 自主事業の取組み強化
7. 基本財産の確実で安全な運用

### 【数値目標】

○事業収益における自主事業収入の割合 R6 2.33% ➡ R11 2.50%  
(指導料・参加料・自販機・リサイクル)